

大人も子どもも
楽しめる!

イベント大特集

県立郷土館

企画展「野山を彩る 北の植物たち〜一戸清志写真展」

北東北に生息する野生植物の魅力ある姿かたち、その変異、生育環境などの多様性について、一戸氏が撮影した写真で紹介します。

■会期：12月4日(金)〜1月17日(日)

12月29日〜1月3日は年末年始休館日です

■開館時間：9:00〜17:00

■観覧料：12月 一般310円、高校・大学生150円

1月 一般250円、高校・大学生120円

小中学生は無料です



エンジツガザクラ

☎017-777-1585

<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/culture/kyodokan.html>

12
4
(金)〜

県立美術館

ラブラブショー

■会期：12月12日(土)〜2月14日(日)

県立美術館と十和田市現代美術館がコラボレーション!「出会い」をテーマにしたにぎやかで楽しい展覧会です。会期中は2つの美術館をつなぐ無料シャトルバスを運行します。話題の2つの美術館を同時に見られるチャンスです!



☎017-783-3000

<http://www.aomori-museum.jp/>

12
12
(土)〜

県立種差少年自然の家

チャレンジキャンプ〜冬〜

テントでの宿泊体験や、野外炊事、

冬の自然体験など、もりだくさんの内容です。

■期日：12月24日(木)〜27日(日) 3泊4日

■対象・定員：小学5年生〜中学3年生 30名

■参加料：一人5,000円程度

■募集期間：11月30日(月)〜12月14日(月) (定員になり次第終了)

申込は電話又はFAX (0178-38-2727) で

☎0178-38-2131

詳しくは県庁ホームページ

種差少年自然の家

検索

12
24
(木)〜

県営スケート場

クリスマスイベント

マスコットキャラクター「アルファくん」がサンタ姿で登場!

楽しいイベントが盛りだくさんの一日です。

■期日：12月23日(祝・水)

■内容：

○一日限定!「アルファくんサンタと記念撮影」(カメラは各自持参)

○初めてでも大丈夫「初心者スケート指導タイム」

○誰でもできる「氷上レクリエーション」

○華麗な演技をごらんあれ!「フィギュアスケートエキシビジョン」

■参加料：無料(ただし、リンク利用料と貸靴料は負担いただきます)

県営スケート場 ☎017-739-9500

<http://www.jomon.ne.jp/~skate01/>

12
23
(祝水)



県立図書館

科学おはなし会 〜みんなおいで!おはなしは 心のおやつだ おいしいよ〜

科学のおもしろ実験や科学に関する本のお話。参加した方には、おはなし会カードとシールを差し上げます。

■日時：12月26日(土) 14:00〜14:30

■対象・定員：小学生、科学に興味のある方など

40名程度(参加無料・事前申込不要)

■場所：図書館児童閲覧室おはなしコーナー



県立図書館 ☎017-739-4211

<http://www.plib.net.pref.aomori.jp/>

12
26
(土)

青い森アリーナ ニューイヤー開放Day

お正月の特別サービス!メインアリーナを個人利用料金で利用できます。

■日時：1月3日(日) 9:00〜18:00

■場所：青い森アリーナ・メインアリーナ

■対象種目：卓球、バドミントン、バスケット、フットサル

■申込方法：当日9:00から電話でご予約いただくか、直接総合受付にお申し込みください。事前予約はできませんのでご了承ください。

■●初めて利用する方は個人登録が必要です。
(利用券を購入していただきます。)

●利用時間は最大2時間までとなります。

●ラケット、ボール等の用具類は各自準備してください。

新年餅つき大会

新年恒例!つきたてのお餅を振る舞います。(先着200名まで)

■日時：1月10日(日) 12:00〜

■場所：青い森アリーナ総合受付前



青い森アリーナ ☎017-737-0600

<http://www.sport-aomori.jp/>

1
3
(日)

今、まさに「結集!!青森力」、観光客の誘客や企業誘致の強力な武器として、全線開業を最大限活かすために、立ち上がるのではないかと。

まず新年の1月11〜24日まで、山手線原宿駅周辺、表参道、明治神宮を青森一色に染める。青森ねぶたを運行し、日級グルメが軒を連ねるグルメ屋台も計画されている。

県外向けのキャンペーンも加速している。JR6社全社による、青森県初の集中3ヵ月間の「ステーションキャンペーン」を頂点に、青森県のコンテンツで東京を埋め尽くそうという試み(いわば「東京ジャック」)も企画されている。

これまで、開業のために努力を重ね続けてきた数えきれない多くの関係者の皆様に、特にその日を待つことの、もはやかなわぬ方々に、深く感謝の思いを献じたい。

0系ひかり号が夢の超特急と称されデビューしたのは昭和39年、東京オリンピックの年。以来、幾星霜、まさに半世紀になんなんとする新青森までの全線開業である。これで私たち青森には、鉄の道(新幹線、陸の道、空の道)の高速交通体系と海の道が集まることになる。結節点としての価値が大いに高まることになる。まさにディープインパクトだ。このインパクトをいかに活かすかが最大の課題。すでに県内では7つの地区協議会により、創意工夫を凝らした活動が行われている。北五地域では、太宰ミュージアムを奥津軽全域に拡大すべく動き出し、下北地域では蟹田・脇野沢フェリーを活用して、海峡側(国道279)とむつ湾側(国道338)を巡る周遊バスをスタートさせ、西海岸では五能線運動で始まった「海彦・山彦の里」を拡大し、漁師の朝飯、農家の朝飯への取組を始めている。

青森県知事 三村 申吾

申吾の
ほっとコラム

新幹線レール締結―活かすぞチャンス

去る11月3日、新青森駅構内において歴史的レール締結式が行われた。胸の高まりを抑えきれないままボルトを締めた。これで東京と青森とが一つのレールでつながった。

12月にはE5系新幹線の県内での試験走行も始まる。